

2017年12月4日

中国・西安で半導体用高純度ケミカル工場の生産能力を増強

住友化学は、このたび、住化電子材料科技（西安）有限公司において、半導体用高純度ケミカル工場の生産設備を増設することといたしました。増設した設備では、2019年初めから順次量産開始予定であり、生産能力は現行比でほぼ倍増となります。

住友化学は、これまで日本、韓国、中国において、半導体製造工程で精密洗浄などに用いられる半導体用高純度ケミカル事業を展開してきました。中国では、半導体市場の拡大に伴って、住化電子材料科技（西安）有限公司を設立した後、本年8月には住化電子材料科技（常州）有限公司を設立し、中国で2拠点目となる半導体用高純度ケミカル工場の建設を開始したところです。

住友化学は、2001年に上海で光学機能性フィルムの加工・販売拠点を設立して以降、顧客のニーズにきめ細かく対応すべく、北京、無錫などで情報電子化学事業を展開しています。今回の増設は、中国における半導体事業のさらなる拡大と、これに伴う半導体用高純度ケミカル需要の増加を背景に決定いたしました。

住友化学は、中期経営計画において「ICT」分野を次世代事業開発の重点領域の一つとして位置付けています。今後も、旺盛な半導体需要を取りこみつつ、中国沿岸地区の住化電子材料科技（常州）と中国内陸部の住化電子材料科技（西安）の東西2拠点を活用しながら、さらなる半導体高純度ケミカル事業の強化を図ってまいります。

<住化電子材料科技（西安）有限公司の概要>

所在地：中国陝西省西安市高新開発区内

資本金：250,724千CNY

董事長：池添 肇

設立年月：2012年11月

事業内容：過酸化水素水、硫酸、安水、イソプロピルアルコール等の製造・販売

以上